

令和7年度 CEDEP の取り組み 第1回

「花から始まり、光で浮き立つ繋がる世界」

令和7年度12月17日(水) 年長児すみれ組

三光幼稚園開園60周年式典では、日頃からお世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて、「ありがとうの花」を歌いました。

すみれ組のみんなが大好きな「ありがとうの花」の歌からイメージし、三光幼稚園開園60周年をお祝いの「ありがとうの花」を OHP シートに描き、作品展に掲示しました。「ありがとう！」と言いながらアルミホイルの上に乗せると、「キラキラ光ってるよ!」「花がもっと綺麗になった!」などと、喜んでいました。

今回は、OHP の機器とスクリーンを用いて、子どもたちが描いた『ありがとうの花』の作品を光と関連付けた活動を行いました。



○1グループ4～5名 30分ずつ程度で実施



1 OHP 機器との出会い

初めて見る機械に興味津々でした。近くでレンズを覗いてみたり、触ってみたりしながら「レンズがあるよ! カメラかな?」「私たちが映るかな?」など、使い方を友達と予想していました。



2 スクリーンに僕が！

OHP のスイッチを押すと、スクリーンに光が映し出されました。僕が影になってるよ！」「A 君もだよ！」自分の動きに合わせて動く影を見ながら、体を動かしたり影を触ってみようとしていたりしていました。



3 「ありがとうの花」を映してみよう！

日頃から「ありがとうの花」を歌い、親しんでいることから、自分の好きな花を描いた OHP シートをプロジェクターに置いてスクリーンに映してみました。大きなスクリーンに自分や友達が描いた絵が映し出されると、「すごい！」と感動したり、「綺麗だね。」と改めてその作品の魅力を感じたりしていました。



4 物語の世界へ

自分が描いた花の絵がスクリーンに映し出されると、改めて自分や友達の花の絵の好きなところを伝え合い、自分の絵の世界の物語をつくり、それを友達に伝えていました。





5 自分のアイデアを試してみたら

「部屋を暗くしてみたら？」「みんなの花の絵を重ねてみたい！」など、子どもたちから様々なアイデアが出て、それを試しました。

友達の作品と自分の作品を重ねてみると、「わあ！重なった！」「花が増えたよ！」「花畑になった！」などと、OHP シートが重なったことで新しい発見がありました。



6 工夫から生まれた新たな発見

プロジェクターの上で自分の花の絵をくるくる回してみたり揺らしてみたりして、スクリーンに映る絵の見え方を楽しんでいました。逆さに映した絵を自分自身も逆さまになって見てみるなどして、「ちゃんと見えるよ！」「私もやってみる！」と、盛り上がっていました。



7 花の世界に入ってみたら

「何だか紙芝居みたいだね！」「この世界を歩いてみよう！」と、自分たちも花の世界に入ったような気持ちで体を動かす姿が見られました。

プロジェクターの前に立つと、自分の顔や体にも花の絵が映ることに気付き、「見て見て！」「顔に花が咲いたね。」と、自分の顔の上に OHP で映された花の絵の重なりを、楽しんでいました。